

# JARL

# 香川クラブ報

No. 433 令和2年10月15日



空港公園のコスモス（10月3日撮影）

J A 5 Y D E

## クラブミーティングのご案内

暑い夏も終わり朝晩は肌寒く感じられる季節になりました。例年11月には高松市震災対策総合訓練等の行事があり、続いて香川マラソンコンテストや忘年会の行事等についても打合せを致したくクラブミーティングのご案内をさせていただきます。

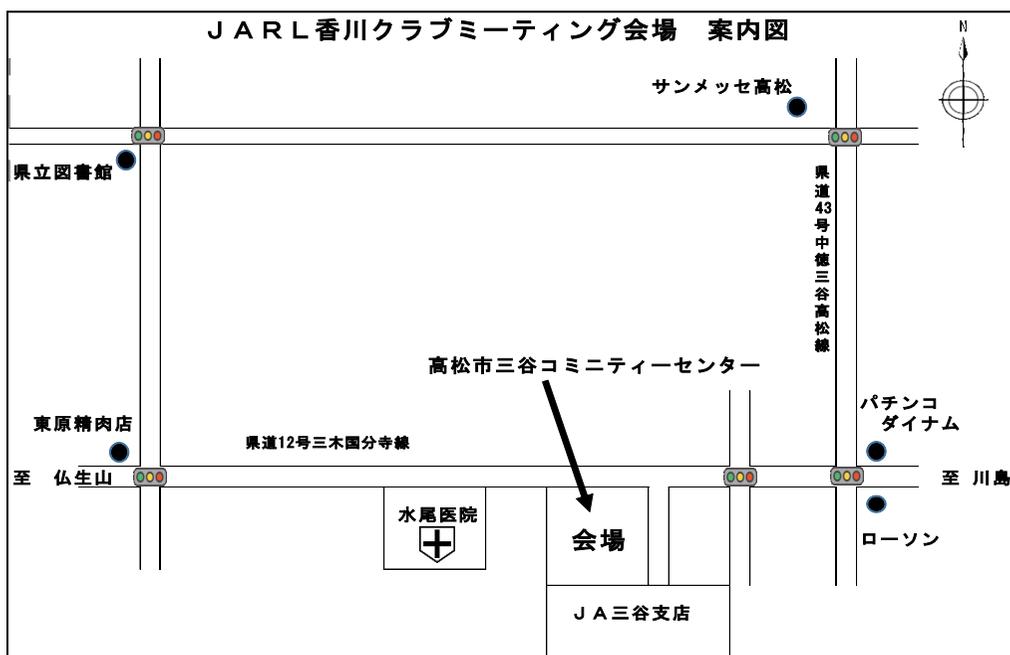
時期的に大変ご多忙とは思いますが、多数の御出席宜しくお願い申し上げます。

### 記

日 時： 10月30日（金） 19：00～21：00頃

場 所： 三谷町 高松市三谷コミュニティセンター

- 議 題：
1. 中止された香川県支部主催「ARDF競技大会」（香川県当番）
  2. 高松市主催「震災対策総合訓練」
  3. 香川マラソンコンテスト
  4. 忘年会
  5. その他



# 初めてづくしの1年

JI5SAI 平田昌三

2019年10月に入会以来、まもなく1年が経とうとしています。入会前から、OM各位には大変お世話になり、お陰様で自身のハムライフにおいて初物づくしの1年となりました。感謝の気持ちを込めて寄稿させていただきます。

1997年に現在のコールサインを取得以来、144MHz帯、430MHz帯のFMモードのみで運用しており、QRTを挟みましたが、この1年で自分なりに新たな挑戦を行い、次のような新たな領域に踏み出しました。今後ともご指導よろしくお願いたします。

- ・ HF帯(3.5/7/14/21/28MHz)と、50MHz帯での QSO 成立
- ・ SSBモードでの QSO 成立
- ・ 自宅での HF帯マルチバンド GP 設置
- ・ 海外局との QSO 成立 (アメリカ西海岸局と、40W・7MHz帯・SSBにて)
- ・ コンテスト参加 (残念ながらいずれのコンテストも入賞ならず)
- ・ CWモードでの QSO 成立 (記念すべき初 QSO は JA5NDZ 上川 OM と)
- ・ クラブコール運用
- ・ ニューイヤーパーティー参加
- ・ 第2級アマチュア無線技士免許取得
- ・ セカンド (息子) の4級従免取得と局免取得 (JJ5PZS) ・ ・ 現在3級。



初めて HF/SSB での QSO 成立した状況(2019年9月、坂井 OM ご指導の元、公淵公園にて)



2アマ国試を受験した大阪の西沢学園



現在の自宅設備 (マルチバンド GP x 2)

# 全国道の駅無線旅 in 北海道

JI5XTP 坂内信洋

4月に政府から新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言（不要不急の外出禁止、県をまたいでの移動の禁止、3密の禁止）が発令された。5月末になると経済の回復を図るため緊急事態宣言を解除し、6月19日には県をまたいでの移動禁止も解除となった。

翌々日の6月21日には「北海道の道の駅」移動運用を計画していた私と愛車のマツダボンゴが舞鶴フェリーターミナルにあった。

## 1. フェリー



小樽行きのフェリーは全長225m、乗客定員746名、トラック158台、乗用車65台が積載できるが車両甲板に乗用車は10台ほどで残りはトラックコンテナでいっぱいになっていた。客室のグレードは8段階あるが一番安い1室10名同室のツーリストAを予約した。予約した客室には私の他に1名が入室した。2段ベッドが配置されているがカーテンで区切られているので同室者と顔を合わすこともないし、区画の閉塞感も無かった。

船内はコロナ禍で食堂を除くすべてのイベントコーナーは閉鎖されていた。NETも電話も繋がらない21時間の船旅の楽しみは読書と大浴場だ。乗船客が少ないので入浴は貸し切りで利用できた。レストランも利用客が少なく3密になることもなかった。

奥尻島、礼文島、利尻島に渡るフェリーは全長100m、幅15m、乗客定員500名、トラック21台、乗用車53台が搭載できる。各島迄の航海時間は2時間弱だが見えるのは海面だけで退屈だ。シーズン中は予約無しでは乗船出来ない所以スマホで予約をしたが乗船客は少なかった。乗用車の乗船はバックで車両甲板に入庫するので、なれてない人は苦戦をしていた。

焼尻島、天売島に渡るフェリーは全長50m、幅11m、乗客定員300名、トラック2台、乗用車8台が積載できる小さなフェリー。フェリーターミナルに行くと満車で乗船できず1日ずらして羽幌FTから焼尻島、天売島の全行程を予約した。このフェリーの入庫もバックだった。船室はほぼ満室で屋外デッキに出て寝転ぶ客もいた。

## 2. 道の駅

どこの道の駅も駐車している車は少なく、道外車は一割にも満たない。道の駅で無線運用をお願いするとほとんどの駅長さんは快く許可をくれた。「縄文ロマン 南かやべ」では開館前で担当者が不在だったので、許可が下りなかった。思案をしていると事務員さんが函館市に電話を入れてくれ、30分ほど待つと担当者が申し訳なさそうに現れ「何時間でもどうぞ」と快諾してくれた。

一番大事で一番憂鬱な作業がQSLカードにスタンプを押印することだ。交信終了後に交信局数+5枚（交信局数が多いときは+10枚）の押印をしなければならない。近年は全国9ブロックでスタンプラリーのスタンプ集めを開催している。スタンプブックに押印をして申請すると記念品がもらえるので人気だ。私が押印する時はスタンプブックを持っている人がいないか周りをキョロキョロするので挙動不審になる。車

中泊する時は交信前に100枚のカードにスタンプを押す。時には事務員が「何枚押すのですか」と聞きに来ることもあった。誰かがスタンプ台を占有していると通告したのだろう。道の駅アワードの規約に1枚のスタンプをコピーして発送してもよい項目を追加してほしいものだ。



V-DP アンテナ

アンテナは4種類を持参した。前半は雨と強風で設営の容易なコメットとダイヤモンドのモバイルホイップを使った。短いアンテナだが予想に反して交信局数を稼いでくれた。新潟のOMから頂いた7mのベースローディング釣り竿アンテナは、突風で3カ所が割れて使い物にならなくなった。それ以後、6mのセンターローディング釣り竿アンテナも使用することは無かった。

重宝したのがラディックスのV-DPアンテナだ。今回からタイヤベースのふみたて君に4mのポールに取り付け、脚立に上り下りすること無く短時間で設営出来る仕様にした。

ある道の駅では夜遅くまで交信し、片付けをおろそかにして就寝。翌日の早朝に次の道の駅に移動して発電機を出そうとした時、発電機の収納ボックスが空っぽ。頭から血の気が引き呆然。20kmを引き返し昨夜駐車していた場所を見渡したが姿はなかった。道の駅の開館を待って事務所と近隣の派出所に紛失届けを出したが出てはなかった。早々ハンドルに忘れ物チェックリストを貼り付けた。

道の駅「ひがしかわ 道草館」でパンフレットを見ていると、47年前アルバイトをしながら日本一周をした時の阿寒湖の土産店があった。阿寒湖から旭川に移ったことは知っていたが、「まさかこの地にお住まいとは」と思いつつ「ふくろうの店」を訪ねた。庭先で草抜きをしていた白髪の姿（その時の店主、西山忠男先生）を見るや「おお」とお互いが声を出しながら手を握っていた。工房と自宅に招いてくれご馳走になった。47年前の出来事が昨日の事のように話が弾み、気がつくとも3時間が経過していた。現在83歳になった今も木彫の創作に励んでいる。

（北海道移動：所要日数46日、訪問駅数128中127、交信局数8,647、走行距離6,721km）

### 3. 浮き島

2016年8月に島根県を訪問したとき、沖合の4島の風景に魅了されて以来、各地を移動した折々に離島があれば訪ねることにしている。今回の旅にも5つの離島を行程に入れた。

奥尻島は面積143km<sup>2</sup>、人口3,000人の南西端に浮かぶ島だ。入港して無線運用地を探す途中、1993年7月12日に北海道南西沖地震で津波の被害を受けた青苗地区があったので訪れた。被災した海岸の至る所に積み石があり被災者を慰霊していた。被災後、観光客が激減したらしく多くの観光施設は閉鎖され敷地には雑草が生え、観光で賑わった頃の面影は無くなっていた。

無線運用地は島で唯一の温泉「神威脇温泉」のオーナーが教えてくれた高台の「北追岬



公園」にした。入浴後、公園に行ったが強風でV-DPアンテナが設営できず、コメントのモバイルアンテナHR 7で短時間だけ運用し、フェリーターミナルに引き返した。翌日の運用地は標高360mの高台「球島山展望台」にした。天候がよければ360°の展望が開けるが生憎の雨で展望はなかった。救いは風が無かったのでV-DPが設営でき、各バンドで494の交信が楽しめた。



礼文島は面積81km<sup>2</sup>、人口2,500人の高山植物が咲く浮き島だ。徒歩5時間クラスのトレッキングコースが6つある。私は桃岩展望コースと岬めぐりコースの一部を歩いた。どのコースも素晴らしい景観で時間が許せばいつまでも眺めていたい。高山植物群生地の開花は終わっており、礼文固有種の「レブニアツモリ」も花一輪だけが高山植物園にあった。冷蔵栽培で開花を遅らせたそう。

無線運用はスコトン岬の駐車場で許可をもらいV-DPアンテナで運用した。ハイバンドのコンディションもよく交信局数も468稼げた。

利尻島は面積182km<sup>2</sup>、人口5,400人で5島のなかで一番大きい。標高1,721mの利尻富士が島のほとんどを占めており、島民を見守っているようだ。滞在3日間はすべて雨で予定していた5合目からの利尻富士登山は断念した。無線運用は雨にもかかわらず、351交信することが出来た。

焼尻島、天売島は面積5.5km<sup>2</sup>、人口300人の小さな島。入浴施設、トイレ付きの公園、コンビニがないので、車中泊を諦め羽幌の観光案内所で民宿を紹介してもらった。道の駅の旅で初めて宿をとった。フェリーは積載車両が8台と少なく、予約無しでは乗れない。予約したため滞在時間が制約され島に着くと、すぐ運用場所を探し交信した。夕方、宿に着くと6畳の和室に案内された。宿の切り盛りは10年前に漁師のご主人を亡くした82歳の女将さんが一人でしていた。今夜の宿泊客は2組3名だ。夕食には海鮮を期待していたが焼き魚定食だった。翌日は天売島に渡るので女将さんに2個のおにぎりを握ってもらった。



焼尻島から見た礼文富士

翌朝、9:30のフェリーで天売島に渡った。運用地はグーグルマップで下調べをしていた「千鳥ヶ浦園地」だ。現地に着くとすぐV-DPアンテナを設営し11:00から15:00まで運用した。230交信で声がかからなくなったのでQRTした。宿に入るにはまだ時間があったので、近くの「海鳥観察舎」を訪ねたが改修中で入れなかった。仕方なく2kmほど先の「赤岩展望台」に行く。展望台周辺の土の斜面にはウトウが掘った巣穴がいっぱい点在している。日中は沖合で餌を探し夜になると帰巢するのでどの巣穴も空っぽだった。また、展望台からは深緑の海から突き出た48mの赤岩（垂直岩）を見下ろすことができる。

夕方、民宿「民宿栄丸」に入る。宿泊客は私だけで7室の部屋を自由に選べたので8

畳の洋室にした。夕食まで時間があるのでのんびりと湯船に浸かった。夕食は期待を裏切らず海鮮づくめのバーベキューで昨夜の無念が吹っ飛んだ。一夜干しのヒラメ、イカ1尾、殻付きウニ2個、1個は生でのこりは炭火で焼く。その隣にはホタテ2枚が網にのる。ホタテを食べ終わると殻の中にジンギスが入る。最後はホタテ汁と小ぶりの海鮮どんぶり。アルコールを控えていた私のテーブルには空になったビールジョッキ2杯が転んでいた。

どの離島の風景も素晴らしく、その美しさをどのような文章で現したらいいのだろうか。レンタルサイクルで一日中ゆっくり走れば満足度100パーセントで☆5つ間違いなしだ。

#### 4. 礼文岳

登山装備は持ってこなかったが、礼文岳を見上げた途端、運動靴に半そでの軽装で登山道に足を踏み入れていた。標高490mの礼文岳は低山だがザレ場、ガレ場、岩場、クマザサ道そしてふかふかの樹木道と変化に富んでいた。4km位歩くと面前の視界が開けて山頂が見える。それはニセ山頂で本当の山頂はまだ100m登らなければならない。ここで根が尽きる人がいるようだ。先に来ていた札幌の二人のおばちゃん山ガールもここで引き返した。



頂上は360度の展望があり、晴れていれば利尻富士を望むことも出来るが裾野から湧き上がってきたガス（霧）でかなわなかった。昼食のオニギリを頬張っているとガス（霧）が周り一面に湧き出て、小雨もばらつきだしたので下山を急いだ。歩行距離約9km、コースタイム3時間のせわしい登山だったが、なんともいえない心地よさが残った。

#### 5. あとがき

構想から4年の歳月をかけた「全国道の駅無線旅」は終わった。だが振り返っても何故か達成感が無い。何故だろう。無線交信だけに特化したからだろうか。観光をしなかったからだろうか。道の駅の名前も道の駅の景観も浮かばない。これからは何万枚と撮った写真を見ながら当時を思い出していくしかない。

今回の北海道の旅で「全国道の駅無線旅」は完結した。

- \*移動開始日 2015年6月19日 RS37-15 「ひなの里かつら」
- \*移動完結日 2020年8月4日 RS01-120 石狩「あいろ一ど厚田」
- \*訪問駅数 1139駅／1180駅
- \*交信局数 65, 175
- \*走行距離 53, 997km

### クラブ報の原稿依頼及び送付先

身近な出来事、旅行記、自身のハムライフ、掲載要望などのジャンルは問いません。  
原稿サイズ：B5サイズ 出来ればWordで作成しメール、電子メールが無い場合はfaxか郵送。

送 付 先：E-mail

Fax

郵 送 先：〒761-

## ★★★ 新入会員募集中 ★★★

JARL香川クラブでは新会員を募集しています。

今年はクラブ結成72年(1948年10月結成)になります。

そこで更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。

クラブに新風を吹き込むと同時に、活性化のためにも新入会員の募集にご協力ください。

### \*お知らせ

JARL香川クラブでは、会員の実態を把握するため、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局の免許状を取得された方は、その都度、お知らせくださいますようお願いいたします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

## JARL香川クラブ報

発行責任者	JH5LYW	三好 伸幸
編 集 者	JA5TFJ	横田 寿夫
	JA5TOP	平賀 正明
	J15VUZ	市原 義博
	J15XTP	坂内 信洋
	JG5JXW	坂井 進史